

年 組 名前：

フジマリモの生態 山中小児童が学ぶ

村教委が授業

山中湖村教委は、同村の山中小で、山中湖に生息する県の天然記念物「フジマリモ」に関する授業を行った。

3、4年生約60人が参加し、6月24日に実施。小学生の頃の自由研究で山中湖から持ち帰ったマリモを約70年にわたって育て続けている亀田良成さん＝東京都＝と、国立科学博物館の辻彰洋研究主幹が講師を務めた。2人はフジマリモの生態や、湖をきれいに保つことの重要性などを伝えた。



児童がフジマリモに触る時間もあった。3年の高村実佑さんは「マリモに種類がたくさんあることに驚いた。学んだことを家族に教えてフジマリモを守っていきたい」と話していた。

〈高橋咲良〉

フジマリモに触る子どもたち
＝山中湖・山中小

(2025年7月10日付 山梨日日新聞14面)

【 記事を先生や家族に読んでもらうか、自分で読んだ後に、教えてください 】

問1 「フジマリモ」は、山梨県の何に指定されていますか。

.....

問2 講師の亀田さんは、なぜ山中湖のマリモを、約70年前に持ち帰ったのですか。

.....

問3 講座で、2人の講師は、どのような話をしましたか。

.....